

春のそろばんフェスティバル 4/3(日)

第5回目の春のそろばん博物館フェスティバルは千葉県、白井市等たくさんの団体の後援のもと開催いたしました。はしそろびっく選手権大会、そろばん将棋大会そしてそろばん道祖神ウォークラリーを柱として地域の人達のパフォーマンス、高校生や商店会等の出店等でにぎわいました。参加者は約2200名と過去最高の人出となりました。



私、貞升初段、カロリーナ、市長



白井高校合唱部の皆さん



商店はお客さんでいっぱい



私は誰でしょう？



この風船を食べちゃいます



将棋は本格的です

○中国からのお客さんです

4月10日(日)は中国からのお客さんがやってきました。中国のそろばんの先生達の集団でとても大きいそろばん学校の若い先生達です。たくさんの質問攻めにあいましたがとてもにぎやかで楽しいひと時でした。最近外国の方たちが多くなってきました。インターネット、フェイスブック等で探してこられます。今年は1月に入館者数が8000名を突破しましたが夏までには9000名にも到達しそうになってきました。



○白井市は梨の花が咲き乱れています。

白井市は日本一の梨の産地です。桜の花の散るのを待ちかねたように市内の各所で真白い花が咲き乱れています。8月までの間にどんどん実を付け成長してみずみずしい美味しい梨ができていきます。自然豊かな環境と温和な土壌がより美味しさを育みます。梨とそろばんの町白井市においで下さいね。



○古文書の研究活動

今年は市役所の文化課と協力しながら博物館内のそろばんに関する古文書の修復作業と将来の出版を目指して＜データ保存＞作業、＜表紙の修復＞作業、＜読み下し＞作業をスタート致しました。現在これらのボランティア協力者を募集しております。ご興味のある方のご参加をお待ちしております。

○第6回企画展示＜中国のお土産そろばん＞

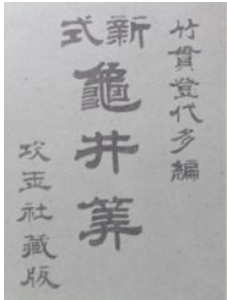
今回の展示は館長が収集してきた中国や台湾で作られたそろばんを展示しています。特にお土産品として現在も作られ、売られている物です。皆さんも旅行等の際には見つけることが出来るかもしれません。機会がありましたら探してみてください。



○そろばん歴史街道

（13）亀井算が生まれる

この時代の割り算は割り算九九を使って答を出していたが百川忠兵衛という人が「新編諸算記」寛永18年(1641)という本の中でわが国で初めてかけ算九九で答えを求める方法を書きました。亀井算といいます。この方法は現代の商除法のもとになりましたが答えを置く位置が一桁違います。



＜五珠そろばんから四珠そろばんへ＞ 館長 石戸謙一

計算の道具として発展してきたそろばんは明治、大正、昭和と時代が移るごとに其の重要性はまじてきました。まだ計算機はなかった時代ですからそろばん上手は社会では引っ張りだこだったのです。よりそろばんによる計算もスピードが重視され、また10進法の普及も急務だったために昭和13年に当時の文部省の担当官だった塩野直道により小学校でのそろばん学習には四珠そろばんを使用することになりました。ですから今の皆さんの使っているそろばんは77年前から一般的に普及し始めたのです。

＜そろばん博物館友の会会員を募集しています。特典がたくさんあります。＞

白井そろばん博物館会員入会・更新申込書

☐ 応援会員 ☐ お楽しみ会員 ☐ ふるさと会員 ☐ 学生会員

＜申込日＞平成 年 月 日

| | | | |
|---------|---|--------|--|
| お名前 | | 電話番号 | |
| 勤務先(学校) | | e-mail | |
| ご住所 | 〒 | | |

1. 入会資格 16歳以上であればどなたでも入会できます。
2. 入会金 無料
3. 年会費 ○応援会員(法人会員) 10,000円 ○お楽しみ会員 5,000円
 ○ふるさと会員 2,000円 ○学生会員 1,000円